




令和5年度「南城市幼児教育の質向上強化事業」活動記録簿

幼小連携アドバイザー	伊集 恒子	実施場所	各園
実施日時	令和5年6月 29日(木)・ 8月 10日(木)		
事業の名称	園内研修支援 ①佐敷こども園 ②南城みなみ保育園		
参加者	① 6/29(木) 佐敷こども園 15名 ② 8/10(木) 南城みなみ保育園 10名		
<p>1 内容</p> <p>① 佐敷こども園 「ドキュメンテーションの作成について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育ドキュメンテーションの目的 (子どもにとって、保育者にとって、保護者にとって)</li> <li>・具体的な作成方法 (写真を撮る、タイトル、吹き出し等)</li> </ul> <p>② 南城みなみ保育園「幼児の主体的な活動と保環境構成について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育の基本、環境を通して行う保育・教育</li> <li>・環境構成の実際、多様な経験ができる環境について</li> </ul> <p>2 成果</p> <p>① 佐敷こども園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育ドキュメンテーション作るのが目的ではないこと、保育の質向上や保育者の専門性の向上が目的であることを知らせ、保育者のドキュメンテーション作成の目的が鮮明となった。</li> <li>・具体的な作成方法を知らせることで保育者の作成意欲へつながった。</li> </ul> <p>② 南城みなみ保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境を通して行う教育は、幼児の主体性と保育者の意図をバランスよく絡めることが大事であることを具体的な事例を通して伝えることで理解につなげた。</li> <li>・写真事例を通して戸外環境と室内環境の在り方を伝え、樹木やチョウの来る花、教材に使える草花の必要性を伝えることができた。⇒多様な体験ができる環境作りへつなげた。</li> </ul> <p>3 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年、こども園に移行したばかりで保育者がドキュメンテーション作成は初めてである。(佐敷こども園)</li> <li>・園舎横の畑の環境作りは、主任と園長が主に担っていた。保育者が主体的に取り組めるようにしたい。(南城みなみ保育園)</li> </ul> <p>4 改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育センターが訪問し、ドキュメンテーションを一緒に作成する。</li> <li>・保育者が主体となって環境を作りだす喜びを味わえるようにする。(園長)</li> </ul> <p>※現在は保育者が意見を出し合って必要な花を植え、畑の使い方等、意欲的に取り組んでいる。</p>			
		 <p>6/29 佐敷こども園</p>	
			
		 <p>8/10 南城みなみ保育園</p>	